

平成29年度 公益財団法人柿衛文庫事業計画

平成29年4月 1日から  
平成30年3月31日まで

1 展示事業

展覧会種別	展覧会名称・概要	期 間
(1)特別展	<p><b>□碧梧桐 へきごとう HEKIGOTOU</b></p> <p>河東碧梧桐の誕生から終焉までを、師正岡子規、・義兄青木月斗・ライバル高濱虚子といったテーマ別に、このたび明らかになり初公開される河東家秘蔵資料によって紹介し、人間河東碧梧桐の魅力に触れる。さらに、俳句の新時代を開こうと奮闘する碧梧桐の姿を浮き彫りにしていく。</p>	<p>4月8日(土) ⇩ 44日 5月28日(日)</p>
(2)特別展	<p><b>□俳諧と茶の湯</b></p> <p>江戸時代に花開いた俳諧は、人々が集まり長句と短句を交互に連ねて一つの作品を作る座の文芸であり、茶の湯もまた複数の人々の参加で成立する。こうした座の意識や季節感など、日本独自の美意識は、俳諧と茶の湯の世界に共通している。</p> <p>そこで本展では、貞門俳諧の祖である貞徳や芭蕉の茶にまつわる作品をはじめ、素堂や菊舎尼などの茶もよくした俳諧師の作品を紹介。また、表千家堀内家初代家元の堀内仙鶴や、江戸へ下り表千家流茶道を広めた川上不自など、俳諧もよくした茶人の作品もあわせて紹介し、俳諧と茶の深いかわりについてあらためて検証する。</p>	<p>9月9日(土) ⇩ 38日 10月22日(日)</p>
(3)小企画展	<p><b>①没後35年 岡田柿衛</b></p> <p>本年は、柿衛翁の没後35年にあたります。 柿衛翁の収集したコレクションを中心に、柿衛翁の俳諧研究の足跡をたどります。</p> <p><b>② あやしの俳諧</b></p> <p>妖怪文化が花開いた江戸時代。鬼に幽霊、変化、奇獣などの妖しきものは俳諧の題材としても大活躍。恐ろしく、美しく、時には戯画化されて生き生きと詠まれた句を一挙に紹介。</p> <p><b>③ 教科書で出会う俳人たち</b></p> <p>学習指導要領の改訂で小学校3・4年生は短歌や俳句に親しむことに重点がおかれている。そのきっかけとなる国語教科書に載る俳人の句や作品を作者の直筆によって紹介。</p> <p><b>④ 明治の大阪が生んだ俳人一月斗(げっと)と青々(せいせい)</b></p> <p>江戸時代以来、経済・文化とも隆盛であった明治の大阪で、子規門を代表する俳人として、関西俳壇に多大な影響を残した2大俳人を紹介。</p>	<p>6月3日(土)ー6月25日(日) 20日</p> <p>7月8日(土)ー8月27日(日) 44日</p> <p>11月3日(金・祝)ー12月24日(日) 45日</p> <p>1月13日(土)ー2月25日(日) 38日</p>

## 2 調査研究事業

- (1) 特別展・企画展のための資料調査研究
- (2) 伊丹市内外における資料調査研究
- (3) 『柿衛文庫目録 第3篇』刊行のための調査研究(書冊篇と短冊篇は刊行済、軸物や手紙など、その他資料の整理)
- (4) 寄贈資料の点検・整理
- (5) 俳諧・俳句に関するレファレンス事項についての調査・研究

## 3 書籍刊行事業

- (1) 『碧梧桐 へきごとう HEKIGOTOU』図録 発行部数 700部
- (2) 『俳諧と茶の湯』図録 発行部数 700部

## 4 普及教育事業

- (1) かきもり文化カレッジ

	講座名・内容	講師名	講座日	受講料
専門コース	<b>【特別展関連講座】</b>	各回とも午後2時～3時30分		要申込
	① 俳句から知る碧梧桐	俳人協会常務理事 栗田 やすし 氏	5月 13日(土)	各回とも 一般 1,500円
	② 書から知る碧梧桐	書家・京都精華大学教授 石川 九 楊 氏	5月 21日(日)	大高生 1,000円
	③ (調整中)	(交渉中)	9月 日(調整中)	友の会 500円
	④ (調整中)	(交渉中)	10月 日(調整中)	
講読コース	芭蕉俳論の原点『葛の松原』を読む	神戸大学名誉教授 堀 信 夫 氏	毎月4土曜日(年10回) 午前10時30分～12時	一般1回1,800円 一括15,000円 友の会1回1,000円 一括10,000円
鑑賞コース	①直筆で楽しむー花鳥風月・春	柿衛文庫副館長 岡田 麗	隔月第4火曜日(年5回) 午後1時30分～3時	両コースとも 一般1回1,500円 一括5,000円
	②資料でたどる伊丹の江戸時代	柿衛文庫館長 今井美紀	隔月第4火曜日(年5回) 午後1時30分～3時	友の会1回 500円 一括2,500円

俳句コース		「鶴」同人 大石悦子氏	毎月第3火曜日(年10回)	一般 一括10,000円
男の句会 コース		「山茶花」主宰 三村純也氏	毎月第3土曜日(年10回) 午前10時30分～12時	一般1回1,500円 一括10,000円 友の会1回 500円 一括 5,000円
研究コース	坪内稔典とたどる岡田柿衛翁の生涯	俳人 坪内稔典氏 柿衛文庫副館長 岡田麗	毎月第1金曜日(年10回) 午後1時30分～3時	無料(要資料代)

(2)特別記念講演会

	講座名	講師名	日時	受講料
① 特別展 記念講演会	碧梧桐の孫が語る 祖父方・河東家と祖母方・青木家の 絆	河東乗汰氏	4月15日(土) 午後2時～3時30分	要観覧券
② 特別展 記念講演会	(調整中)	(交渉中)	月 日(土)(調整中) (開催時間は調整中)	一般 500円 大高生200円

(3)第27回鬼貫頭彰俳句大会

日時	選者(当日句会・表彰・選評)
8月 5日(土) 午後1時30分～	現代俳句協会 宇多喜代子氏 日本伝統俳句協会 稲畑廣太郎氏 俳人協会 大石悦子氏

(4)也雲軒事業

①第27回鬼貫頭彰俳句(児童・生徒の部)

選者	也雲軒塾頭 坪内稔典氏、伊丹市内国語科担当教諭
募集	伊丹市内の各学校を通じて募集
句集	入選句のみ掲載
表彰式	伊丹アイフォニックホール 8月18日(金) 午後1時30分～

②俳句と遊ぼう

色紙制作/色紙作品展 8月19日(土)/8月20日(日)

③第14回鬼貫青春俳句大賞 全国的な新人(15～30歳)の登竜門 柿衛文庫開館20周年を記念して創設

選者	也雲軒塾頭 坪内稔典氏、日本伝統俳句協会 稲畑廣太郎氏、詩人 山本純子氏、伊丹青年会議所、柿衛文庫
選考及び	12月16日(土)
表彰式	公開選考会の後、表彰式 大賞句は俳句総合誌『俳句』に掲載

④ことばを考える講座

各界のユニークで著名な人材を招いて、「ことば」について多彩な方面から考える講座

⑤俳句ラボ 49歳以下の若者による句会 毎月第2日曜日(年10回)

## 5 柿衛賞事業

第26回 柿衛賞

発表・表彰	6月4日(日) 授賞式・受賞記念講演会
-------	------------------------

呈茶	山中宗鹿社中
----	--------

## 6 俳句資料室事業

(1)第9回桂信子賞

決定	11月中旬
表彰	平成30年1月
講演会	受賞者記念講演

(2)俳句朗読会/対談 月 日(調整中)

朗読	清水紘治氏
対談	(調整中)

(3)俳句資料室の運営

俳句資料室におけるレファレンス、資料整理・充実

(4)柿衛文庫<<日本のくらしをさく>>シリーズ(年4回予定 調整中)

(5)『桂信子の百句鑑賞』刊行予定

## 7 その他の事業

(1) 資料の閲覧・複写・出品・撮影・掲載に関する事業

(2) 友の会に関する事業

① 友の会ニュースの発行 年1回

② 俳跡を訪ねる旅 年1回

③ 観柿会 11月3日(金・祝)

(3) 第16回正岡子規記念伊丹野球大会

(4) 他施設・他団体との関係等

① 第15回ひなかざり@伊丹郷町館

② 講座・講演会等への職員の講師派遣